

調査レポート

アジア経済概況(2015年1-3月)

【目次】

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況…1-3月期の成長率は+7.0%に鈍化…………… p.1
2. 中国の主要指標解説:国際収支の「新常态」…………… p.3
3. 台湾経済の概況…景気は緩やかな回復基調…………… p.4
4. 韓国経済の概況…1-3月期の実質 GDP 成長率は+2.4%に鈍化…………… p.5

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況…景気の回復テンポは依然として緩やか…………… p.6
2. インドネシア経済の概況…景気の拡大テンポは緩やか…………… p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標…………… p.8
4. ベトナム経済の概況…1-3月期の成長率は+6.0%と堅調…………… p.9
5. インド経済の概況…景気は緩やかに持ち直している…………… p.10

III. アジア通貨・株価動向…………… p.11

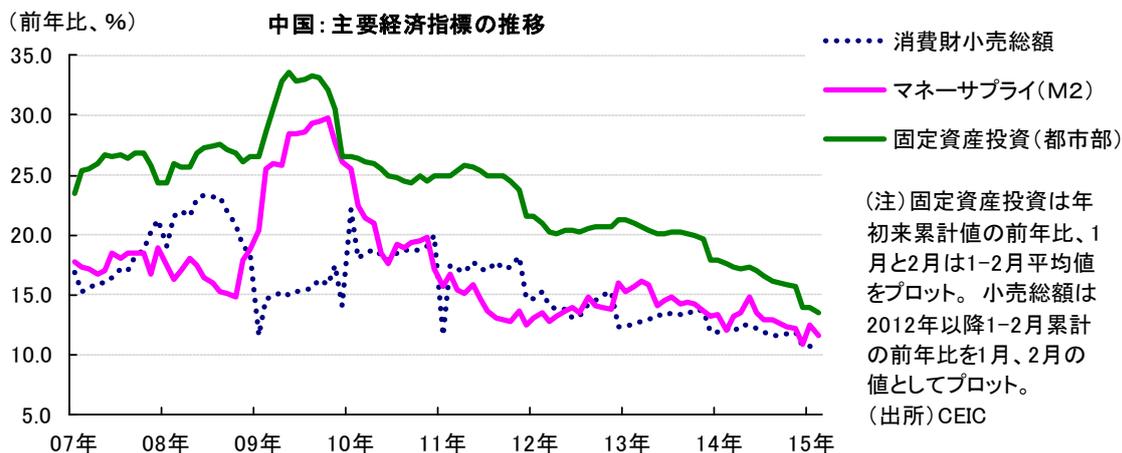
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2
TEL:03-6733-1070

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・景気の回復ペースは一段と緩やかなものになっている。
- ・1-3月期の実質GDP成長率は前年比+7.0%と前期（同+7.3%）から0.3%ポイント鈍化した。前期比ベースでも+1.3%（年率換算で+5.3%）と前期（同+1.5%、年率換算で+6.1%）に比べて一段と鈍化した。
- ・消費の状況を消費財小売総額で見ると、大規模商店の不振が続いており、1-3月期は前年比+10.6%と2014年通年の同+12.0%に比べて弱い数字となっている。自動車販売も乗用車の販売は堅調に推移しているものの、商用車販売が前年比マイナスで推移し、全体として弱い動きとなっている。
- ・固定資産投資は不動産関連の投資の鈍化から1-3月期は前年比+13.5%と2014年の同+15.7%からさらに鈍化している。
- ・輸出は1-3月期も前年比+4.6%と一桁台の伸びにとどまったものの、輸入が同-17.8%と大幅なマイナスになったことから、1-3月期の貿易収支は引き続き1千億ドルを上回る黒字となった。
- ・一方、製造業購買担当者指数（PMI）は1月49.8、2月49.9と2カ月続けて景気の拡大と縮小の分岐点である50を下回ったが、3月には50.1と再び50を上回った。緩やかながらも景気が持ち直し方向にあることが示唆されている。
- ・また、生産者物価は依然として前年比マイナスながらも3月は-4.6%と前月の同-4.8%からマイナス幅が縮小し、2014年7月以降続いていたマイナス幅の拡大が一服した。生産能力の調整が徐々に進んでいる可能性が示唆されている。
- ・他方、3月のマネーサプライは、2月の預金準備率引下げ、3月の利下げにもかかわらず、前年比+11.6%と今年の政策目標（+12.0%）を下回る水準にとどまっている。こうした中で4月19日、中国人民銀行（中銀）は追加緩和策となる預金準備率の引下げ（1%ポイント；大手銀行：19.5%⇒18.5%）を発表した（実施は20日）。



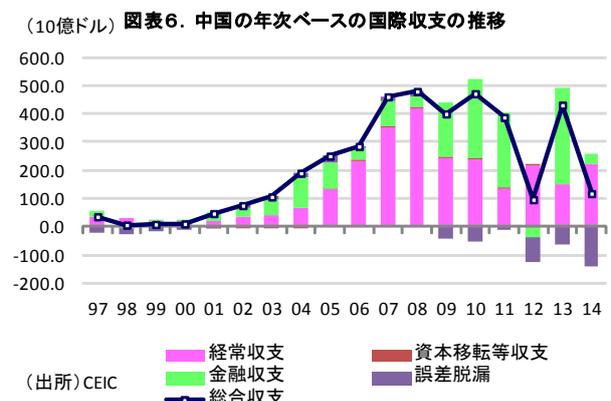
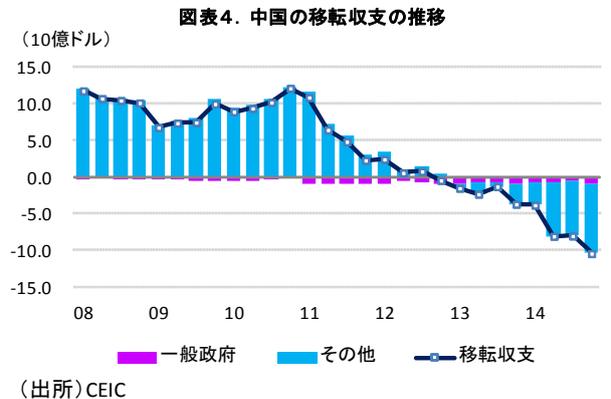
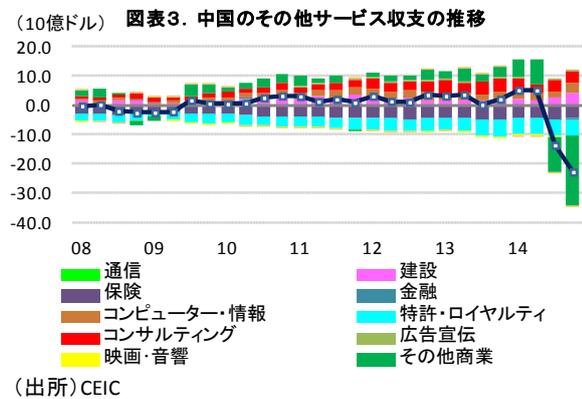
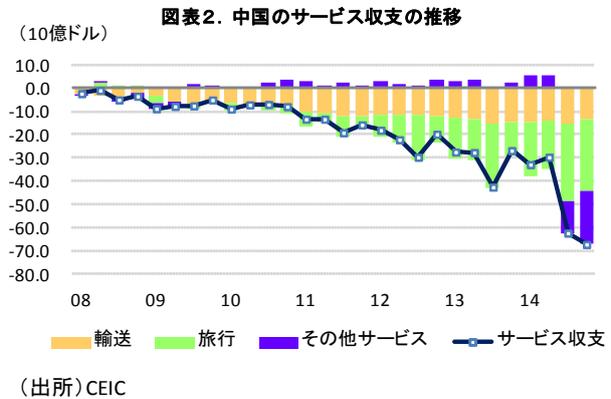
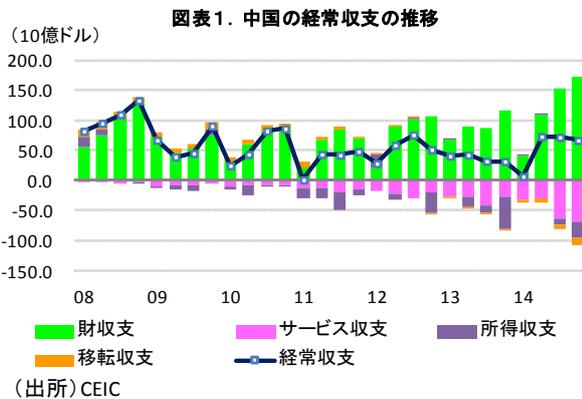
【中国・香港の主要経済指標】

			2012年	2013年	2014年	14/10	14/20	14/30	14/40	15/10	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.6	2.0	1.9	1.5	1.3				
			前年比%				7.4	7.5	7.3	7.3	7.0				
		(累計ベース)	前年比%	7.7	7.7	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.0				
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.3	10.1	8.2	7.9	8.5	8.5	8.2	5.8				
	消費	消費財小売総額	前年比%	14.2	13.2	12.0	12.0	12.3	11.9	11.7	10.6	11.9		10.7	10.2
		うち都市部	前年比%	14.2	13.0	11.9	11.8	12.1	11.8	11.6	10.4	11.8		10.6	10.0
		うち農村部	前年比%	14.5	14.8	12.9	12.8	13.5	12.8	12.4	11.6	12.4		11.6	11.5
		自動車販売台数	前年比%	4.3	13.9	6.9	9.2	7.5	4.2	6.2	3.9	12.9	7.6	▲0.2	3.3
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	7.1	15.7	9.9	10.1	12.3	8.1	9.2	9.0	16.0	10.4	6.4	9.4
		消費者自信指数	期中平均	102.4	101.2	104.4	104.0	103.9	104.5	104.9	107.5	105.8	105.7	109.8	107.1
		消費者期待指数	期中平均	106.9	105.5	107.9	108.1	107.3	107.8	108.4	110.8	109.1	109.0	113.0	110.3
	投資	固定資産投資(都市部・500万円以上:年初来累計)	前年比%	20.6	19.6	15.7	17.6	17.3	16.1	15.7	13.5	15.7		13.9	13.5
		うち不動産・居住用建物	前年比%	22.1	20.3	11.1	16.3	14.1	12.6	11.1	9.0	11.1		11.3	9.0
		うち国内企業	前年比%	21.2	20.5	16.3	19.0	18.3	16.8	16.3	13.8	16.3		14.4	13.8
		うち製造業	前年比%	22.0	18.5	13.5	15.2	14.8	13.8	13.5	10.4	13.5		10.6	10.4
うち鉄鋼		前年比%	▲2.0	▲2.1	▲5.9	▲7.5	▲8.4	▲5.0	▲5.9	▲5.4	▲5.9		▲4.1	▲5.4	
うち輸送機械(→自動車)		前年比%	32.8	15.0	8.3	13.1	12.1	10.2	8.3	7.6	8.3		5.1	7.6	
うち電気機械		前年比%	4.8	10.7	12.9	10.3	16.0	13.9	12.9	13.4	12.9		11.7	13.4	
うち情報通信機器		前年比%	12.9	20.2	10.7	13.3	9.4	8.8	10.7	18.3	10.7		7.1	18.3	
直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	▲10.1	▲8.6	4.4	▲0.7	3.2	5.5	4.4	22.4	4.4	31.8	38.6	22.4	
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	▲2.3	▲2.9	1.7	5.5	2.2	▲1.4	1.7	10.6	1.7	29.4	16.4	10.6	
不動産景気指数	期中平均	95.6	97.3	95.2	96.7	95.2	94.8	94.3	93.4	93.9		93.8	93.1		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	230.3	259.0	382.5	16.6	85.9	128.1	149.5	123.7	49.6	60.0	60.6	3.1	
	輸出(ドルベース)	前年比%	7.9	7.8	6.1	▲3.5	4.9	12.9	8.5	4.6	9.5	▲3.3	48.3	▲15.0	
	輸入(ドルベース)	前年比%	4.3	7.2	0.5	2.0	1.3	1.2	▲1.6	▲17.8	▲2.3	▲20.0	▲20.8	▲12.9	
	対米貿易収支	10億ドル	218.9	216.1	237.0	38.7	58.7	69.6	70.0	53.2	20.7	21.5	19.9	11.7	
	対日貿易収支	10億ドル	▲26.2	▲12.1	▲13.6	▲0.1	▲4.2	▲5.8	▲3.3	▲0.4	▲2.4	1.0	1.3	▲2.6	
	外貨準備	期末10億ドル	3311.6	3821.3	3843.0	3948.1	3993.2	3887.7	3843.0	3730.0	3843.0	3813.4	3801.5	3730.0	
	生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	10.0	9.7	8.3	8.7	8.8	8.5	8.3	6.4	8.3		6.8	6.4
うち国有企業		前年比%	6.4	6.9	4.9	4.5	5.5	5.2	4.9	1.7	4.9		2.2	1.7	
うち株式会社		前年比%	11.8	11.0	9.7	10.0	10.2	9.9	9.7	7.4	9.7		7.7	7.4	
うち外商・港台澳企業		前年比%	6.3	8.3	6.3	7.8	7.4	6.7	6.3	4.3	6.3		4.9	4.3	
発電量		前年比%	4.2	8.3	5.1	7.8	7.3	3.2	2.7	3.0	2.6	13.4	▲4.7	▲0.4	
製造業購買担当者指数(PMI)		%	50.8	50.8	50.7	50.3	50.7	51.3	50.4	49.9	50.1	49.8	49.9	50.1	
うち新規受注		%	50.9	51.7	51.6	50.7	52.1	52.8	51.0	50.3	50.4	50.2	50.4	50.2	
うち雇用		%	49.4	48.9	48.3	48.2	48.4	48.2	48.2	48.0	48.1	47.9	47.8	48.4	
新規輸出受注	%	49.3	49.4	49.6	49.2	49.6	50.3	49.1	48.4	49.1	48.4	48.5	48.3		
所得	都市一人当り処分所得(累計ベース)	前年比%	12.6	7.7	9.0	6.6	9.6	9.3	9.0	8.3					
	労働力市場求人倍率	期末	1.08	1.10	1.15	1.11	1.11	1.09	1.15	1.12					
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.8	40.3		44.2									
物価	消費者物価指数	前年比%	2.7	2.6	2.0	2.3	2.2	2.0	1.5	1.2	1.5	0.8	1.4	1.4	
	うち食品	前年比%	4.9	4.7	3.1	3.5	3.4	3.0	2.6	1.9	2.9	1.1	2.4	2.3	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.9	1.5	1.2	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1	0.9	1.5	1.2	
	生産者物価指数	前年比%	▲1.7	▲1.9	▲1.9	▲2.0	▲1.5	▲1.3	▲2.8	▲4.6	▲3.3	▲4.3	▲4.8	▲4.6	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.8	13.6	12.2	12.1	14.7	12.9	12.2	11.6	12.2	10.8	12.5	11.6	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	2.80	3.30	2.74	2.72	2.55	3.00	2.69	3.08	2.97	2.81	3.07	3.37	
	株価指数(上海総合)	期末	2,269	2,116	3,235	2,033	2,048	2,364	3,235	3,748	3,235	3,210	3,310	3,748	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.31	6.20	6.14	6.12	6.16	6.16	6.14	6.14	6.12	6.13	6.13	6.15	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.6	15.8	17.2	16.8	16.5	16.9	18.6	19.3	19.4	19.2	19.2	19.5	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	1.7	2.9	2.3	2.6	1.8	2.7	2.2					
		うち民間消費	前年比%	4.1	4.6	2.7	1.6	1.3	4.1	3.8					
		うち固定資本形成	前年比%	6.8	2.2	▲0.3	3.7	▲5.2	▲3.3	4.0					
		名目GDP成長率	前年比%	5.3	4.7	5.3	5.0	6.2	5.7	4.6					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	7.1	10.8	0.4	2.7	▲8.4	3.6	4.0		▲1.7	▲2.3	1.3	
		貿易	貿易収支	10億HKドル	▲478	▲503	▲550	▲124	▲141	▲124	▲161		▲59	▲37	▲36
			輸出(香港ドルベース)	前年比%	2.9	3.6	3.2	0.7	4.8	5.9	1.2		0.6	2.8	7.2
	輸入(香港ドルベース)	前年比%	3.9	3.8	3.9	2.1	4.6	5.7	3.3		1.9	7.9	▲0.9		
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.1	4.3	4.4	4.2	3.6	4.8	5.1	4.4	4.8	4.1	4.6	4.6
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	10.3	11.7	12.6	11.6	13.4	14.5	11.0		9.6	10.4	8.3	
ハンセン指数		期末ポイント	22,657	23,306	23,605	22,151	23,191	22,933	23,605	24,901	23,605	24,507	24,823	24,901	

(出所) CEIC

2. 中国の主要指標解説：中国の国際収支の「新常态」

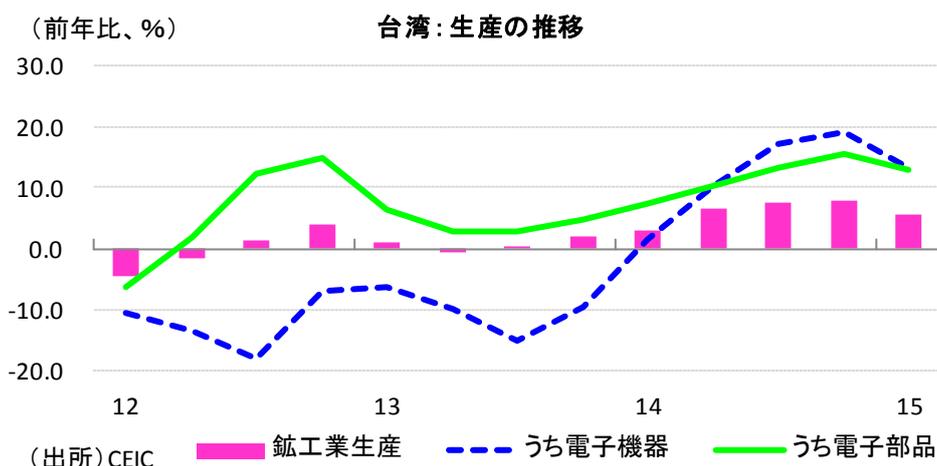
中国の経常収支は2014年4-6月期以降700億ドル前後の大幅な黒字が続いている（図表1）。財収支の黒字幅拡大にもかかわらず、経常黒字額がほぼ横ばいにとどまっているのは旅行収支を中心にサービス収支の赤字幅が拡大しているためである（図表2）。サービス収支も足元では旅行に加えてその他サービスの赤字が拡大している。その中身をみると研究開発や技術サービスを中心とするその他商業サービスの収支が大幅な赤字に転じているが、これは2014年10月に公布されたサービス輸入も含む輸入強化策に沿った動きと考えられる（図表3）。他方、個人間の資金の移転を示す一般政府以外の部門による移転収支が2013年以降赤字に転じ、足元にかけて赤字幅が拡大している（図表4）。加えて誤差脱漏項目のマイナス（資金の流出）幅も拡大傾向にある（図表5）。結果として総合収支の黒字もピークアウトしているようにみえる（図表6）。中国経済が「新常态」に移行する中で中国を取り巻く資金の流れにも新しい動きがみられるようだ。



(※) 総合収支 = 経常収支 + 資本移転収支 + 金融収支 + 誤差脱漏

3. 台湾経済の概況

- ・ 景気は緩やかな回復基調にある。
- ・ 1-3月の鉱工業生産は前年比+5.7%と前期（同+7.9%）からは鈍化したものの、底堅く推移している。半導体などの電子部品（同+12.9%）やパソコンなどの電子機器（同+13.3%）の生産は依然として前年比二桁の増加が続いている。
- ・ 1-3月期の卸小売販売指数は、雇用環境の改善と物価の安定を背景とした消費者マインドの改善傾向から前年比+6.2%と堅調に推移している。
- ・ 消費者物価上昇率は1月以降前年比マイナスが続いている。これは原油価格の下落の影響によるものであり、エネルギーと食品を除いたコア・ベースでは前年比+1.0%前後で安定的に推移している。
- ・ こうした中で台湾中銀は3月、2011年9月以降15四半期連続となる政策金利の据え置き（1.875%）を決めた。



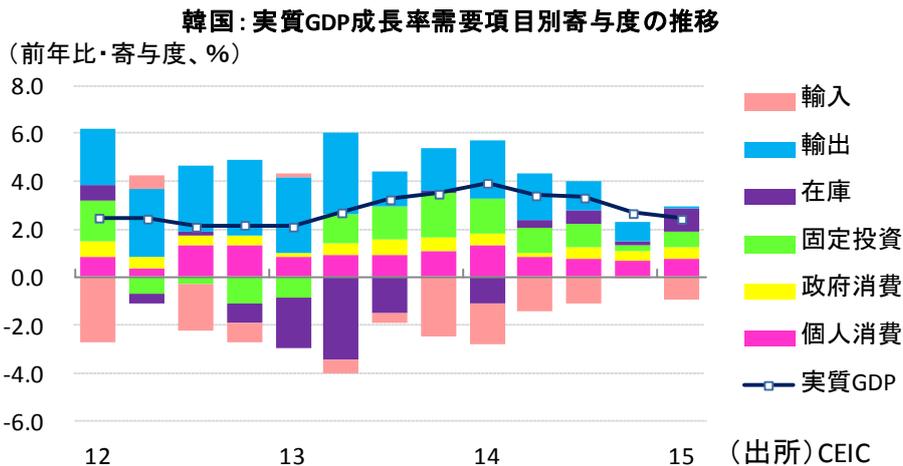
【台湾の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.3	0.9	1.1	1.2					
	(前年比)	2.1	2.2	3.7	3.4	3.9	4.3	3.3					
	うち個人消費	1.8	2.4	3.0	2.4	3.3	3.8	2.4					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	▲ 2.6	5.0	1.7	0.9	1.6	4.8	▲ 0.4					
▲ 0.3	6.7	3.4	1.4	4.3	6.3	1.3							
生産	鉱工業生産 (yoy)	▲ 0.2	0.7	6.4	3.0	6.7	7.7	7.9	5.7	7.8	7.6	2.7	6.5
消費	卸小売販売指数 (yoy)	▲ 0.1	2.6	2.6	1.9	3.3	2.0	3.2	6.2	5.3	5.7	7.0	6.1
貿易及び対外関連	貿易収支 (10億 ^{ドル})	30.7	35.5	39.7	6.5	9.7	10.3	13.2	13.4	4.4	4.8	4.6	4.1
	輸出 (yoy)	▲ 2.3	1.4	2.7	1.0	2.9	6.6	0.4	▲ 4.2	▲ 2.9	3.4	▲ 6.7	▲ 8.9
	輸出受注 (yoy)	1.1	0.4	6.7	2.7	8.0	8.0	7.9	2.5	4.5	8.1	▲ 2.7	1.3
	輸入 (yoy)	▲ 3.9	▲ 0.2	1.5	▲ 1.7	3.7	7.5	▲ 3.3	▲ 15.0	▲ 12.3	▲ 4.7	▲ 22.4	▲ 17.8
	経常収支 (10億 ^{ドル})	48.9	55.3	65.3	15.0	16.1	15.1	19.2					
外貨準備高 (10億 ^{ドル})	403	417	419	419	423	421	419	415	419	416	418	415	
雇用	失業率 (季調値)	4.2	4.2	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8
物価	消費者物価 (yoy)	1.9	0.8	1.2	0.8	1.6	1.5	0.8	▲ 0.6	0.6	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.6
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	3.5	5.8	6.1	5.9	5.4	5.0	6.1	6.4	6.1	5.7	6.9	6.4
	株価指数 (加権指数)	7,700	8,612	9,307	8,849	9,393	8,967	9,307	9,586	9,307	9,362	9,622	9,586
	短期金利 (オーバーナイト)	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート (NT ^{ドル} / ^{ドル})	29.6	29.8	30.4	30.4	30.2	30.1	30.9	31.6	31.5	31.7	31.6	31.5
	為替レート (円/NT ^{ドル})	2.69	3.28	3.49	3.38	3.38	3.46	3.71	3.77	3.79	3.73	3.76	3.82

（出所）CEIC （注）yoy=前年比（%）、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・一部に持ち直しの兆しがみえるものの、景気は依然として低迷基調で推移している。
- ・1-3月期の実質GDP成長率は速報値ベースで前年比+2.4%と前期（同+2.7%）から0.3%ポイント鈍化した。消費・投資とも堅調に推移しているものの、実質GDPの約6割を占める輸出が一段と鈍化（同+1.4%⇒同+0.0%）する一方、輸入が増加（同+0.1%⇒同+1.8%）した。その結果、純輸出（輸出－輸入）の成長率寄与度が前期の+0.7%から-0.9%と大幅マイナスに転じ、成長率を押し下げた。ただし、季節調整済みの前期比成長率は前期の+0.3%（年率+1.1%）から1-3月期は同+0.8%（同+3.1%）に持ち直しており、下げ止まりの兆しがみえてきた。
- ・韓国中銀は4月9日、2015年の成長率見通しを1月時点の+3.4%から+3.1%に、消費者物価上昇率の見通しを同じく+1.9%から+0.9%にそれぞれ下方修正した。中銀は3月に5カ月ぶりに利下げを実施し、足元、政策金利は初めての1%台(1.75%)で推移している。4月の金融通貨委員会では様子見のため1.75%に据え置かれた。



【韓国の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/10	14/20	14/30	14/40	15/10	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.1	0.5	0.8	0.3	0.8				
	(前年比)	2.3	2.9	3.3	3.9	3.4	3.3	2.7	2.4				
	うち個人消費	1.9	1.9	1.8	2.6	1.7	1.5	1.4	1.5				
	うち固定資本形成	▲0.5	3.3	3.1	5.8	3.3	3.3	0.7	2.5				
	うち設備	0.1	▲0.8	5.8	7.2	7.7	4.2	4.2	5.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.4	0.7	0.1	0.6	0.4	1.2	▲1.8		1.1	1.7	▲4.7	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.5	0.7	1.6	2.4	0.8	1.5	1.8		4.6	▲2.9	5.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	28.3	44.0	47.2	5.2	14.7	8.9	18.3	21.6	5.6	5.5	7.7	8.4
	輸出(yoy)	▲1.3	2.1	2.3	1.6	3.2	3.6	0.9	▲2.9	3.1	▲1.0	▲3.3	▲4.3
	輸入(yoy)	▲0.9	▲0.8	1.9	2.0	3.3	5.4	▲2.8	▲15.4	▲1.0	▲11.5	▲19.6	▲15.3
	経常収支(10億ドル)	50.8	81.1	89.2	15.2	24.2	22.6	27.2		7.0	6.6	6.4	
	外貨準備高(10億ドル)	327	346	364	354	367	364	364	363	364	362	362	363
雇用	失業率(季調値)	3.2	3.1	3.5	3.5	3.7	3.5	3.5	3.7	3.5	3.4	3.9	3.7
物価	消費者物価(yoy)	2.2	1.3	1.3	1.1	1.6	1.4	1.0	0.6	0.8	0.8	0.5	0.4
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	4.8	4.6	8.1	5.0	5.7	7.2	8.1		8.1	7.7	8.2	
	株価指数(総合)	1,997	2,011	1,916	1,986	2,002	2,020	1,916	2,041	1,916	1,949	1,986	2,041
	CDレート(3カ月物)	3.30	2.72	2.49	2.65	2.65	2.51	2.16	2.07	2.13	2.13	2.12	1.95
	為替レート(ウォン/ドル)	1,127	1,095	1,053	1,069	1,030	1,026	1,087	1,100	1,104	1,089	1,098	1,113
	為替レート(円/100ウォン)	7.1	8.9	10.1	9.6	10.0	10.2	10.6	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の回復テンポは依然として緩やかなものにとどまっている。
- ・個人消費は、一次産品価格の下落に伴う農家所得の減少、高止まりしている家計の債務負担水準、弱含みの消費者マインドなどの下押し要因により低迷している。
- ・企業の設備投資も内外需の回復テンポが緩やかなものにとどまる中、低い水準にとどまっている。また輸出は中国やASEANなど近隣諸国向けの不振から低迷している。
- ・一方、海外からの旅行客数は政情の安定化とともに持ち直しており、足元、観光業が景気回復の牽引役となっている。4月1日の戒厳令解除を受けて今後、一段の観光客数の増加が期待されている。
- ・タイ中銀は3月11日、利下げ賛成4票対反対3票の表決で0.25%ポイントの利下げ(2.00%⇒1.75%)を決めた。また2015年の成長率見通しを昨年12月時点の+4.0%から+3.8%に引き下げた。



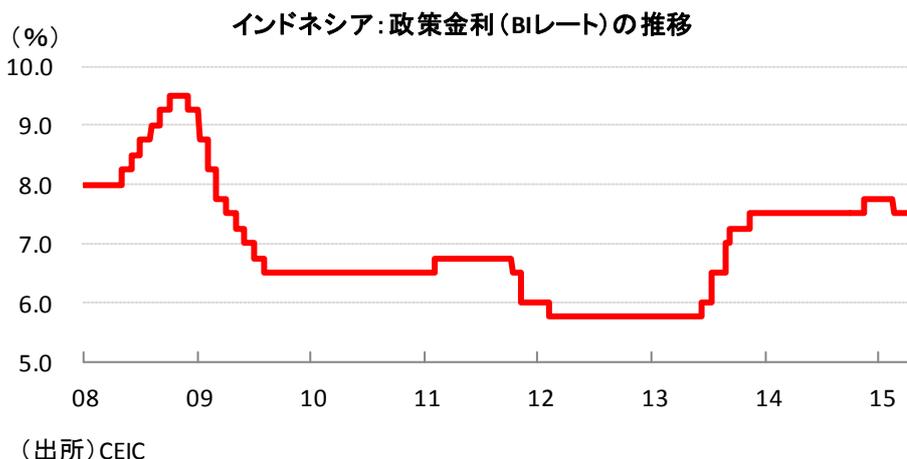
【タイの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	6.5	2.9	0.7	▲0.5	0.4	0.6	2.3					
	個人消費	6.7	0.3	0.3	▲3.0	0.2	2.2	1.9					
	総固定資本形成	13.2	▲2.0	▲2.8	▲9.3	▲6.9	2.9	3.2					
生産	製造業生産指数 (yoy)	2.2	▲3.2	▲4.6	▲7.0	▲4.8	▲3.9	▲2.3		▲0.1	▲0.8	3.6	
消費	個人消費指数 (yoy)	9.2	0.3	0.0	▲2.4	1.7	1.0	▲0.0		▲0.3	0.4	▲0.4	
投資	民間企業投資指数 (yoy)	6.8	0.4	▲2.6	▲4.3	▲2.5	▲2.8	▲0.7		0.0	▲0.3	0.5	
輸出入 BOP ⁺ -s	貿易収支 (10億 ^{ドル})	6.7	6.7	24.6	6.3	5.9	4.8	7.6		3.6	1.4	2.6	
	輸出 (yoy)	3.0	▲0.1	▲0.3	▲1.1	0.3	▲1.7	1.5		2.3	▲2.6	▲6.0	
	輸入 (yoy)	8.4	▲0.1	▲8.5	▲14.7	▲11.8	▲0.8	▲5.7		▲7.9	▲14.8	1.6	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	▲1.5	▲3.9	13.1	5.5	▲0.6	▲0.5	8.7		5.1	2.5	3.5	
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	171.1	159.0	149.1	158.8	159.3	153.3	149.1		149.1	146.9	148.8	
雇用	失業率 (季調前)	0.7	0.7	0.8	0.9	1.0	0.8	0.6	1.0	0.6	1.1	0.8	1.0
物価	消費者物価 (総合, yoy)	3.0	2.2	1.9	2.0	2.5	2.0	1.1	▲0.5	0.6	▲0.4	▲0.5	▲0.6
	消費者物価 (コア, yoy)	2.1	1.0	1.6	1.2	1.7	1.8	1.7	1.5	1.7	1.6	1.4	1.3
金融	マネーサプライ (broad M, yoy)	10.4	7.3	4.6	6.4	4.4	4.0	4.6		4.6	5.0	5.5	
	株価指数 (SET)	1,392	1,299	1,498	1,376	1,486	1,586	1,498	1,506	1,498	1,581	1,587	1,506
	インタバンク金利 (3M)	3.08	2.69	2.22	2.34	2.18	2.18	2.18	2.12	2.18	2.17	2.17	2.02
	為替レート (円/バーツ)	31.1	30.7	32.5	32.7	32.5	32.1	32.7	32.6	32.9	32.7	32.6	32.6
	為替レート (円/バーツ)	2.57	3.17	3.25	3.15	3.15	3.24	3.49	3.65	3.63	3.61	3.64	3.69

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・個人消費は物価の安定を背景に堅調に推移している。1-3月期の小売売上は前年比+15.7%に持ち直した。一方、輸出は一次産品価格の下落や中国をはじめとする主要輸出相手国の景気の減速から前年比マイナスが続いている。ただし、原油価格の下落から輸入が大幅に鈍化しているため、1-3月期の貿易収支は25億ドルと大幅な黒字となった。
- ・消費者物価上昇率は、燃料補助金の削減（2013年6月と2014年11月）の影響から一時的に8%台に高騰したものの、食品価格の安定と原油価格の下落を背景に2月、3月とも前年比6%台にまで低下している。
- ・インドネシア中銀は2月に2012年2月以来3年ぶりとなる利下げ(7.75%⇒7.50%)を実施した。その後も物価が安定基調で推移し、インフレ目標(4±1%)内に収まる方向にあるとの判断から3月、4月と2カ月連続して7.50%に据え置いている。



【インドネシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	6.0	5.6	5.0	5.1	5.0	4.9	5.0					
	個人消費	5.5	5.4	5.1	5.4	5.1	5.1	5.0					
	総固定資本形成	9.1	5.3	4.1	4.7	3.7	3.9	4.3					
生産	製造業生産(yoy)	4.1	6.0	4.7	3.5	4.2	5.8	5.4		5.2	5.0	2.3	
消費	小売売上(yoy)	14.5	12.9	14.5	19.9	13.0	15.3	10.6	15.7	3.8	10.9	16.5	19.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲1.7	▲4.1	▲1.9	1.1	▲2.2	▲0.5	▲0.2	2.5	0.2	0.7	0.7	1.1
	輸出(yoy)	▲6.6	▲3.9	▲3.4	▲2.5	▲2.5	2.3	▲10.3	▲11.4	▲13.8	▲7.7	▲16.8	▲9.8
	(除く石油ガス, yoy)	▲5.5	▲2.0	▲2.6	▲2.3	▲2.0	2.0	▲7.7	▲8.3	▲9.5	▲5.8	▲12.5	▲6.6
	輸入(yoy)	8.0	▲2.6	▲4.5	▲5.3	▲4.2	▲3.3	▲5.3	▲15.1	▲6.6	▲15.4	▲16.5	▲13.4
国際収支	経常収支(10億ドル)	▲24.4	▲29.1	▲26.2	▲4.1	▲8.9	▲7.0	▲6.2					
	外貨準備高(10億ドル)	105.3	92.9	105.5	95.8	100.9	104.7	105.5	105.4	105.5	107.8	109.2	105.4
物価	消費者物価(yoy)	4.0	6.4	6.4	7.8	7.1	4.4	6.5	6.5	8.4	7.0	6.3	6.4
金融	マネーサプライ(M2, yoy)	15.0	12.8	11.9	10.2	13.3	11.9	11.9		11.9	14.3	16.1	
	株価指数(総合)	4,317	4,274	5,227	4,768	4,879	5,138	5,227	5,519	5,227	5,289	5,450	5,519
	中銀債金利(3ヵ月)	5.75	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.75	7.50	7.75	7.75	7.50	7.50
	為替レート(ドル/円)	9,419	10,563	11,885	11,755	11,704	11,840	12,239	12,857	12,440	12,625	12,863	13,084
	為替レート(円/100ドル)	0.85	0.93	0.89	0.87	0.87	0.89	0.94	0.93	0.96	0.93	0.93	0.92

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標
【マレーシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	5.6	4.7	6.0	6.2	6.5	5.6	5.8					
	個人消費	8.2	7.2	7.1	7.1	6.5	6.7	7.8					
	総固定資本形成	19.2	8.5	4.7	6.3	7.2	1.1	4.3					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.2	3.4	5.1	4.7	5.8	4.1	5.8		7.4	7.0	5.1	
消費	自動車販売台数(yoy)	4.6	4.5	1.7	1.7	11.2	▲ 8.8	3.8	4.9	6.9	0.7	▲ 1.6	14.2
輸出入	貿易収支(10億ドル)	31.1	22.6	25.4	8.0	5.7	5.3	6.4		2.7	2.5	1.3	
	輸出(yoy)	▲ 0.3	0.4	2.4	3.5	8.6	3.0	▲ 4.1		▲ 4.1	▲ 8.3	▲ 16.9	
	輸入(yoy)	4.8	4.8	1.4	▲ 1.4	3.1	4.2	▲ 0.2		▲ 2.8	▲ 12.5	▲ 7.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	17.6	12.7	15.1	6.0	4.9	2.4	1.8					
	外貨準備高(10億ドル)	126	122	107	118	120	117	107	96	107	101	101	96
雇用	失業率(%)	3.0	3.1	2.9	3.2	2.9	2.7	2.8		3.0	3.1	3.2	
物価	消費者物価(yoy)	1.7	2.1	3.1	3.5	3.3	3.0	2.8	0.7	2.7	1.0	0.1	0.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.7	8.4	7.5	6.3	5.7	5.4	7.5		7.5	6.8	7.5	
	株価指数(総合)	1,689	1,867	1,761	1,849	1,883	1,846	1,761	1,831	1,761	1,781	1,821	1,831
	インターバンク金利(1M,%)	3.06	3.07	3.21	3.07	3.08	3.30	3.37		3.43	3.33	3.33	
	為替レート(リンギ/ドル)	3.09	3.15	3.27	3.30	3.23	3.19	3.36	3.62	3.48	3.58	3.59	3.68
	為替レート(円/リンギ)	25.8	30.9	32.3	31.2	31.6	32.5	34.0	32.9	34.3	33.0	33.0	32.7

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%), 鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	7.2	6.1	5.6	6.4	5.3	6.9					
	個人消費	6.6	5.7	5.4	5.9	5.7	5.0	5.1					
	固定資本形成	10.8	11.9	8.6	11.0	4.5	10.5	8.1					
生産	鉱工業生産(yoy)	7.0	5.4	6.2	2.8	10.8	5.3	5.9		3.4	1.8	▲ 2.0	
消費	自動車販売台数(yoy)	10.6	15.7	29.5	23.0	26.8	37.6	30.3	21.6	24.1	19.3	22.6	22.6
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲ 10.0	▲ 5.7	▲ 2.7	▲ 1.9	0.3	0.0	▲ 1.1		▲ 0.7	▲ 0.9		
	輸出(yoy)	7.9	8.8	9.0	6.9	9.7	12.9	6.3		▲ 3.2	▲ 0.5	▲ 3.1	
	輸入(yoy)	2.7	0.5	3.4	12.4	▲ 0.5	▲ 0.1	2.7		0.4	▲ 12.4		
国際収支	経常収支(10億ドル)	6.9	11.4	12.7	1.5	3.1	3.4	4.7		1.4			
	外貨準備高(10億ドル)	83.8	83.2	79.5	79.6	80.7	79.5	79.5	80.4	79.5	80.7	80.8	80.4
雇用	失業率(%)	7.2	7.2	7.0	7.5	7.0	6.7	6.0	6.6				
物価	消費者物価(yoy)	3.2	2.9	4.2	4.1	4.4	4.7	3.6	2.4	2.7	2.4	2.5	2.4
金融	マネーサプライ(yoy)	9.4	31.8	11.3	35.3	23.5	16.4	11.3		11.3	7.7	8.5	
	株価指数(総合)	5,813	5,890	7,231	6,429	6,844	7,283	7,231	7,940	7,231	7,690	7,731	7,940
	国債(3ヵ月,%,期末)	0.20	0.00	1.42	1.00	1.04	1.24	1.42	1.40	1.416	n.a.	1.541	1.40
	為替レート(ペソ/ドル)	42.2	42.4	44.4	44.9	44.1	43.8	44.8	44.4	44.7	44.6	44.2	44.4
	為替レート(円/ペソ)	1.89	2.30	2.38	2.29	2.32	2.37	2.55	2.68	2.66	2.66	2.68	2.71

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%).

【シンガポールの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	4.4	2.9	4.6	2.3	2.8	2.1					
	個人消費	3.4	3.6	2.5	2.8	3.1	1.9	2.2					
	総固定資本形成	8.6	1.1	▲ 1.9	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 5.6	1.2					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.3	1.7	2.7	9.6	1.4	1.7	▲ 1.2	▲ 2.7	▲ 1.8	1.2	▲ 3.3	▲ 5.5
消費	小売売上金額(yoy)	4.7	▲ 0.4	1.6	0.9	▲ 4.1	3.5	6.1		4.5	▲ 5.1	15.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.6	37.3	43.5	8.1	10.5	13.2	11.8	16.5	3.4	6.4	3.8	6.3
	輸出(yoy)	▲ 0.2	0.5	▲ 0.2	4.8	2.4	▲ 0.1	▲ 7.1	▲ 11.4	▲ 5.0	▲ 6.3	▲ 21.5	▲ 7.3
	輸入(yoy)	3.9	▲ 1.8	▲ 1.9	4.2	2.7	▲ 4.4	▲ 9.2	▲ 21.5	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 21.5
国際収支	経常収支(10億ドル)	49.8	54.1	58.8	12.3	14.2	17.5	14.8					
	外貨準備高(10億ドル)	259	273	257	273	278	266	257	249	257	251	251	249
雇用	失業率(季調値,%)	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9					
物価	消費者物価(yoy)	4.6	2.4	1.0	1.0	2.2	1.0	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.3
金融	マネーサプライ(M2,%)	7.2	4.3	3.3	2.0	0.6	1.9	3.3		3.3	2.6	3.3	
	株価指数(ストリート)	3,167	3,167	3,365	3,189	3,256	3,277	3,365	3,447	3,365	3,391	3,403	3,447
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.38	0.40	0.46	0.41	0.40	0.41	0.46	1.01	0.46	0.67	0.77	1.01
	為替レート(ドル/シンガポールドル)	1.25	1.25	1.27	1.27	1.25	1.25	1.29	1.36	1.32	1.34	1.35	1.38
	為替レート(円/シンガポールドル)	63.8	77.9	83.4	81.0	81.5	83.0	88.3	87.8	90.7	88.5	87.6	87.4

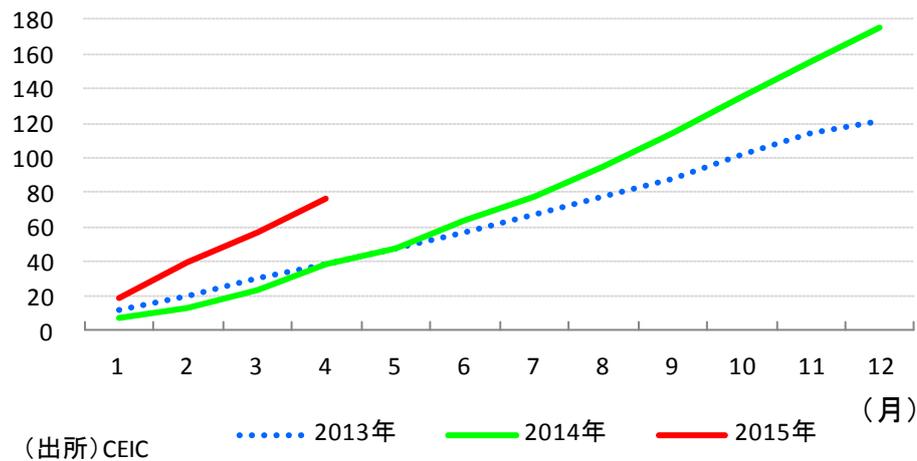
(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%), 輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気は緩やかに回復している。
- ・1-3月期の実質GDP成長率は前年比+6.0%と1-3月期の成長率としては過去5年間で最も高い水準となった（2011年1-3月期+5.9%、2012年同+4.8%、2013年同+4.8%、2014年同+5.1%）。牽引役は製造業（前年比+9.5%；寄与度+1.4%）と卸小売を中心とするサービス（同5.8%；寄与度+2.5%）である。
- ・1-4月期の鉱工業生産は、携帯電話（前年比+99.0%）、テレビ（同+37.8%）などを中心に前年比+9.4%と堅調な拡大が続いている。
- ・1-4月期の輸出は電子機器・同部品（前年比+62.1%）、電話・同部品（同+14.2%）を中心に前年比+8.0%増加した。ただし、輸入が前年比+19.1%と大幅に増加したことから貿易収支は約20億ドルの赤字となった。完成車を中心に自動車（同+98.3%）、一般機械類（同+42.0%）などの輸入が大幅に増加している。

ベトナム：携帯電話の生産台数の推移

（年初来累計、百万台）



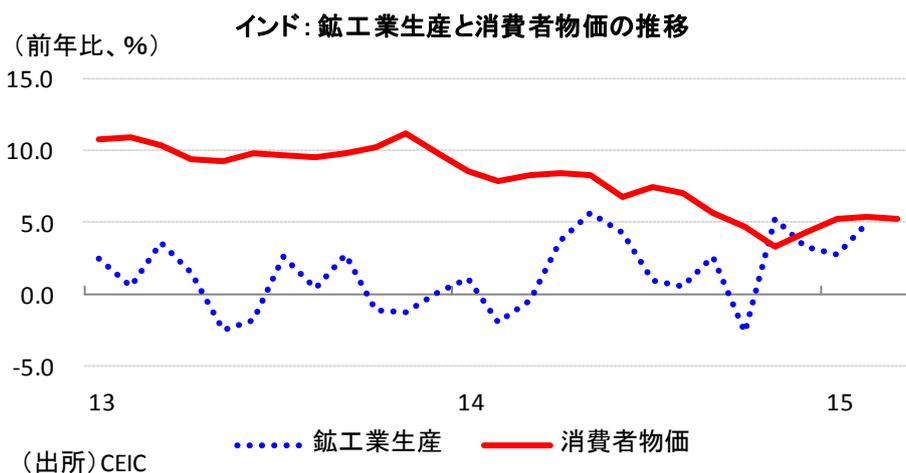
【ベトナムの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月	15/4月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	5.4	6.0	5.1	5.2	5.6	6.0	6.0					
	農業	2.7	2.7	3.5	2.4	3.0	3.0	3.5	2.1					
	工業・建設	4.5	5.4	7.1	4.7	5.3	6.4	7.1	8.4					
生産	鉱工業生産(ytd, yoy)	4.8	5.9	7.6	5.2	5.8	6.7	7.6	9.1	7.6	17.5	12.0	9.1	9.4
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	16.0	12.6	10.6	10.2	10.7	11.1	10.6	10.0	10.6	13.0	11.4	10.0	8.8
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.0	0.4	0.8	0.7	0.4	0.4	▲0.7	▲1.5	▲1.2	▲0.4	0.3	▲1.4	▲0.6
	輸出(yoy)	20.0	16.5	12.6	12.2	15.7	11.9	10.8	9.0	10.6	17.0	▲0.3	8.7	5.6
	輸入(yoy)	7.9	18.2	12.3	10.4	10.5	13.5	14.6	19.7	15.2	37.4	3.9	18.1	17.5
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.1	9.5		3.3									
	外貨準備高(10億ドル)	25.2	25.5	33.8	33.3	35.4	36.4	33.8						
物価	消費者物価(yoy)	9.3	6.6	4.1	4.8	4.7	4.3	2.6	0.7	1.8	0.9	0.3	0.9	1.0
金融	株価指数(VN index)	413.7	504.6	545.6	591.6	578.1	598.8	545.6	551.1	545.6	576.1	592.6	551.1	
	プライムレート(翌日物・期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
	為替レート(ドン/ドル)	20,828	20,949	21,159	21,036	21,106	21,246	21,246	21,458	21,246	21,458	21,458	21,458	
	為替レート(円/100ドン)	0.38	0.47	0.50	0.49	0.48	0.49	0.54	0.56	0.56	0.55	0.55	0.56	

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気は緩やかに持ち直している。
- ・鉱工業生産は、原材料に加えて資本財の生産が増加基調にあり、1-2月期は前年比+3.8%と10-12月期の同+1.9%から伸び率が拡大した。一方、消費財の生産は国内の消費需要の弱さと輸入による代替の影響から弱い動きが続いている。
- ・乗用車販売は、2014年2月から12月末まで一時的に導入された物品税の引下げ措置終了後も原油価格の下落などを背景に底堅く推移している。
- ・消費者物価上昇率は原油価格の下落もあり、足元前年比+5%台にまで低下している。こうした中でインド準備銀行（中銀）は景気テコ入れのために1月と3月の2回、それぞれ0.25%ポイントの利下げ（8.00%⇒7.75%⇒7.50%）を実施したが、4月は物価の先行きにやや不透明感があることとこれまでの利下げの効果を見極めるため7.50%で据え置いた。



【インドの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	14/12月	15/1月	15/2月	15/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	6.4	7.2	6.7	6.5	8.2	7.5					
	農業生産	1.9	13.8	6.2	8.7	9.7	7.2	1.6					
	実質GDP (年度)	4.5	6.9										
	農業生産 (年度)	1.4	12.7										
生産	鉱工業生産 (yoy)	0.7	0.6	1.8	▲ 0.4	4.5	1.3	1.9		3.2	2.8	5.0	
消費	新車販売台数 (yoy)	9.8	▲ 7.5	0.8	▲ 6.4	1.3	7.3	2.6	4.0	12.4	3.2	6.2	2.7
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	▲ 192.9	▲ 150.6	▲ 141.6	▲ 28.7	▲ 34.2	▲ 39.8	▲ 38.8	▲ 27.0	▲ 9.0	▲ 8.4	▲ 6.8	▲ 11.8
	輸出 (yoy)	▲ 2.0	6.1	1.9	▲ 0.5	7.7	1.0	▲ 0.1	▲ 16.1	▲ 2.5	▲ 11.6	▲ 15.0	▲ 21.1
	輸入 (yoy)	5.4	▲ 5.0	▲ 0.7	▲ 12.0	▲ 6.3	10.3	7.8	▲ 13.5	▲ 5.2	▲ 11.5	▲ 15.7	▲ 13.4
国際収支	経常収支 (10億ドル)	▲ 91.8	▲ 49.2	▲ 27.7	▲ 1.3	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 8.4					
	外貨準備高 (10億ドル)	261.7	267.7	295.9	276.4	289.3	288.0	295.9	317.3	295.9	303.3	312.2	317.3
物価	卸売物価 (yoy)	7.5	6.3	3.8	5.4	5.8	3.9	0.3	▲ 1.8	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 2.1	▲ 2.3
	消費者物価 (yoy)	9.7	10.1	7.2	8.4	8.1	7.4	5.0	5.2	5.0	5.2	5.4	5.2
金融	マネーサプライ (M3, yoy)	11.2	14.8	11.1	13.2	11.8	12.4	11.1	11.3	11.1	11.2	11.5	11.3
	株価指数 (BSE Sensitive)	19,427	21,171	27,499	22,386	25,414	26,631	27,499	27,957	27,499	29,183	29,362	27,957
	TB3ヶ月	8.41	8.81	8.65	8.97	8.69	8.59	8.34	8.30	8.31	8.23	8.39	8.27
	為替レート (円/ドル)	53.6	59.0	61.1	61.5	59.8	60.8	62.2	62.0	63.3	61.8	61.8	62.6
	為替レート (円/ルピー)	1.49	1.66	1.74	1.66	1.70	1.73	1.87	1.92	1.89	1.91	1.93	1.92

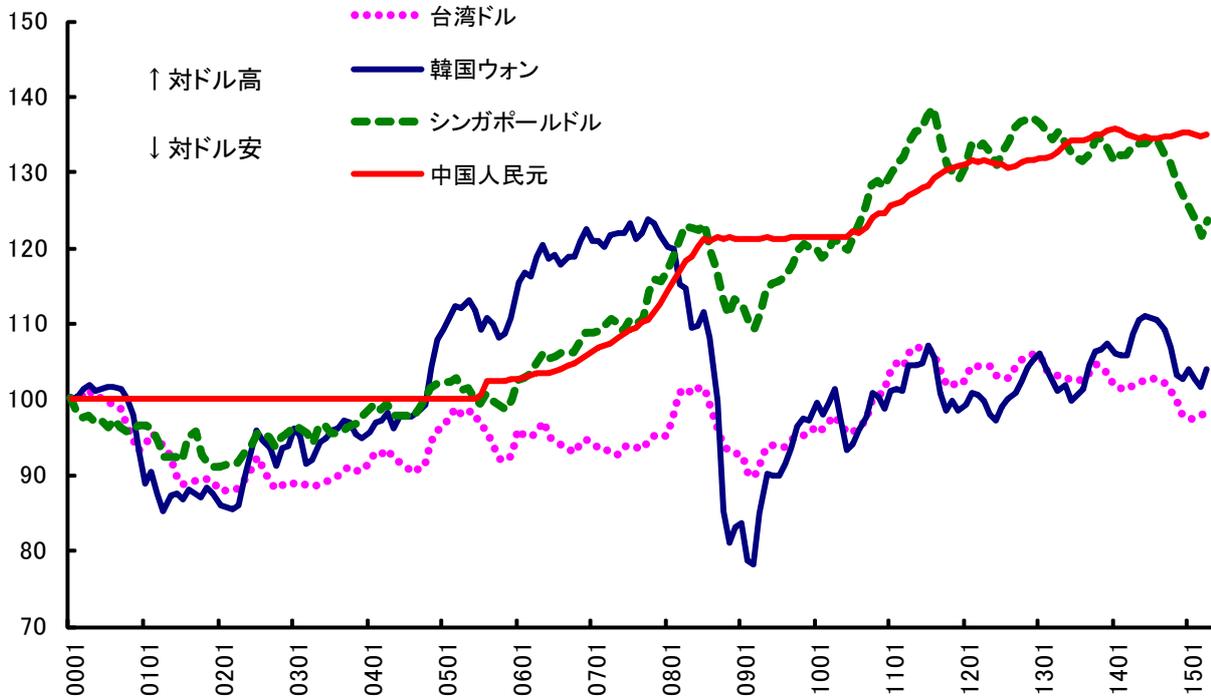
（出所）CEIC（注）yoy=前年比（%）、GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

Ⅲ. アジア通貨・株価動向

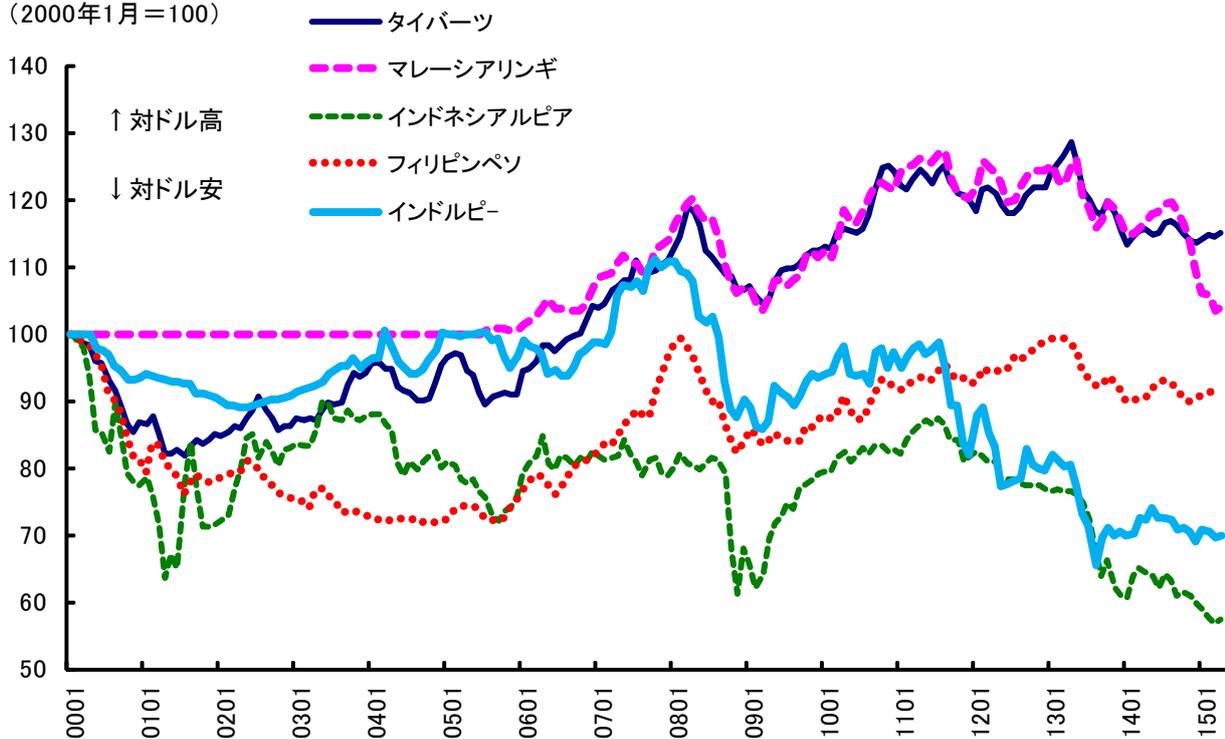
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000年1月=100>

(2000年1月=100)



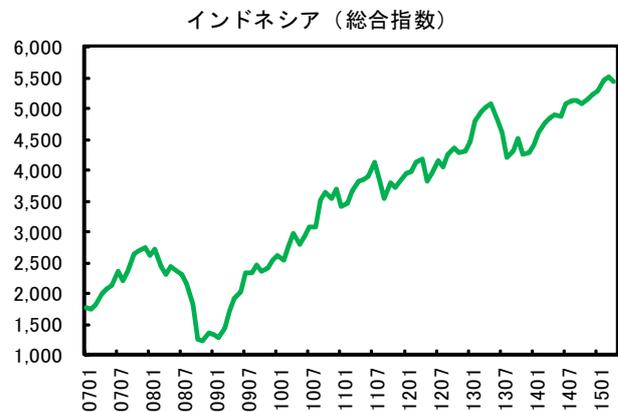
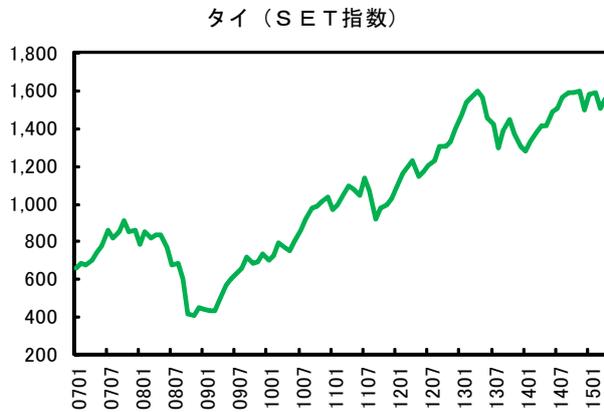
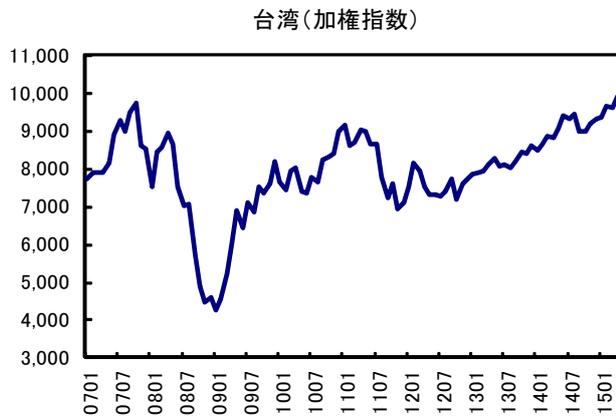
(2000年1月=100)



(出所) CEIC

(注)直近のデータは2015/4/1-4/24の平均値。

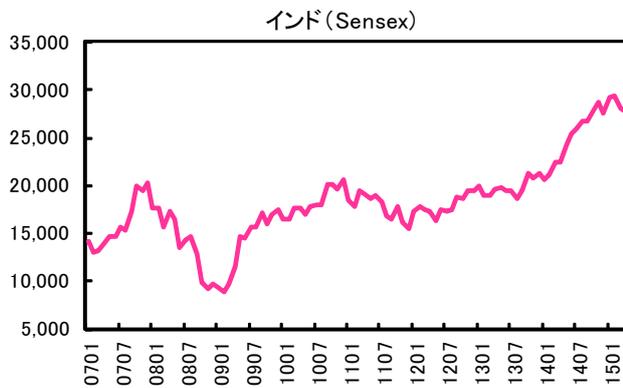
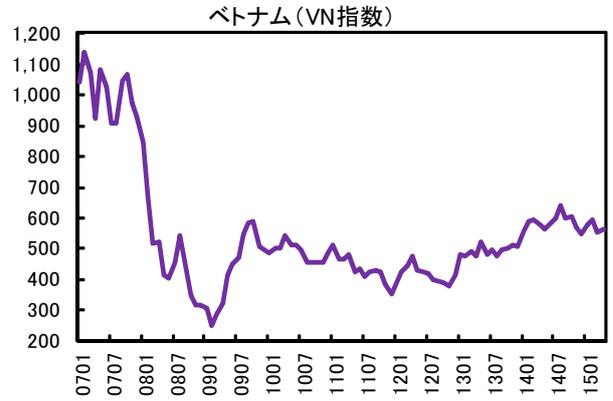
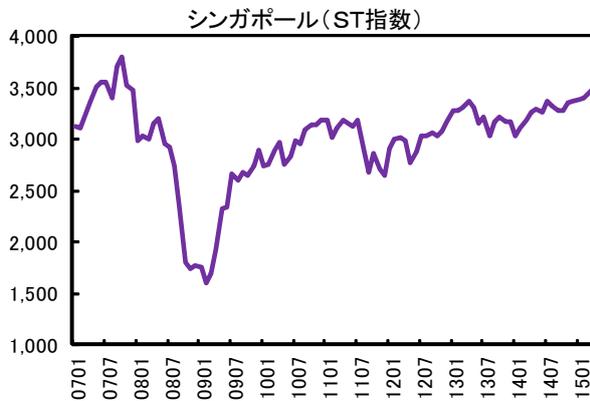
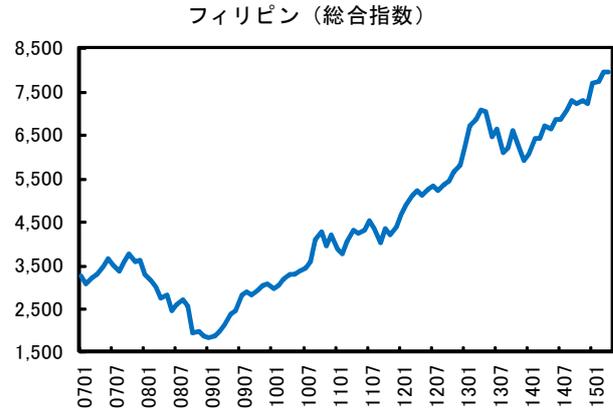
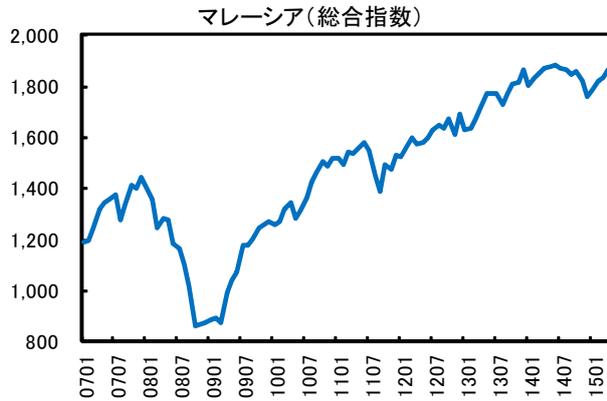
アジア諸国の株価動向（月末値）①



(出所) CEIC

(注) 直近のデータは2015年4月24日終値。

アジア諸国の株価動向（月末値）②



(出所) CEIC

(注) 直近のデータは2015年4月24日終値。

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。